

災害情報を一括化して複数のメディアに配信する 「公共情報コモンズ」の名称が「Lアラート」に（総務省）

公共情報コモンズは、地方自治体が発信する避難指示や避難勧告、土砂災害警戒情報を ICT の活用により一括化し、テレビ、ラジオなどの様々なメディアを通じて、地域住民に迅速かつ効率的に提供することを実現するもので、平成 23 年 6 月から運用が開始されました。

しかし、名称がわかりにくいなどの理由もあって、導入済みの自治体は 26 年 8 月現在、東京都や大阪府、静岡県など 21 の都道府県にとどまっています。

こうしたことから総務省が普及拡大に向けて検討を進めていたもので、国民保護法や緊急地震速報を防災行政無線などで伝える「全国瞬時警報システム（Jアラート）」と一対の仕組みしたいとして災害情報共有システム（Lアラート）としました。

「Lアラート」は災害情報を地域の住民に迅速かつ確実に届けるローカル（Local）な緊急警報という意味だそうです。

総務省報道発表資料（平成 26 年 8 月 1 日）

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu06_02000065.html